

# New Space Europe 2019 参加報告

2019年11月18日



葛岡 成樹



## 目次

概要 .....	1
感想・分析 .....	1
主な講演 .....	3
(1) 政府の役割 .....	3
(2) ESA の通信衛星計画 .....	3
(3) 地球観測衛星の収束点 .....	3
ちよつと一言 .....	3

### 概要

2019年11月13日(水)から14日(木)の4日間、ルクセンブルク大公国首都ルクセンブルク市のルクセンブルク欧州会議センター (ECCL) にて第3回 New Space Europe 会議が開催された。昨年9月に発足したルクセンブルク宇宙庁(LSA)が、今年からこの会議を開催するようになった。主催者に確認すると参加者は約300人とのことであり、昨年の同会議出席者500人より減ったようである。これは去年・今年と実際に参加した感覚とも一致する。

### 感想・分析

LSA は経済省傘下の組織であり、新たなビジネス誘致や人材開発などルクセンブルク宇宙産業の経済的發展を促進することを目的に設置された機関である。このため NASA や JAXA など他国宇宙機関とは異なり、LSA は直接研究や打ち上げミッションを行わず、イノベーション志向のビジネス創発を加速させる事を主な役割として、宇宙産業の主要プレーヤー同士のコラボレーションの促進や人材育成を重視している。この目的・活動内容には、やはり宇宙ビジネスを重視する英国宇宙機関 UKSA との共通点が見

える。

この LSA の性質を反映し、本会議も議論の中心は宇宙ビジネスである。会議の最初にルクセンブルク副



首相兼経済大臣 Mr. ÉTIENNE SCHNEIDER がキーノートスピーチし、なぜルクセンブルクが宇宙ビジネスを振興するのかと語った。それによるとルクセンブルクはもともと資源もない小さな農業国であったが海外から技術・資本を取り込んで重工業などを発展させ、現在はユーロ圏を代表する国際金融センターとなっている。宇宙ビジネスについても同様で、まず大公家自らが関与して 1985 に SES を設立し、有力な宇宙通信企業に育てた。NewSpace についても同様に国としてコミットし、政府自身が投資家として投資するほか、大学の教育での人材育成や LSA、また宇宙研究センターの設立など積極的に宇宙ビジネス振興を支援しているとのことである。

この国・LSA の方針のもと LSA が主催する本会議も投資・NewSpace 振興支援に力点が置かれていた。例えば Airbus D/S Mr. ROB POSTMA のキーノートスピーチでは、投資の重要性を強調するとともに、その際にリスクを取ることと複数関連組織による協業が重要であり、リスクをどう分散させるかという点が強調された。

実は今回この会議に出席する際、欧州の宇宙ビジネスへの投資環境がどうなっているのかに大変興味を持っていた。今年 1 月に米国シリコンバレーで開催された SmallSat Symposium で、「Shakeout(反落・淘汰)」というキーワードが出てきて、ここ数年の NewSpace への投資熱が見直しを含む転換点に来つつあるという話があり、今回の会議の議論に注目していた。結論から言うと、正直期待外れであった。たしかに複数の投資家が現状や見通しを説明したが、基本的にきれいなストーリーを語るに留まりまだまだ宇宙スタートアップの投資熱が盛んなことを謳い、「Shakeout」を伺わせる発表はなかった。ただ一つ、投資会社



TenX の Mr. PETER MCCULLAGH の発表の中で、各種の宇宙ビジネスが、現在ちょうどハイプサイクルの幻滅期<sup>1</sup>を迎えつつあるという主張には納得できるところがあった。

一方今回参加して大いに参考になったのは、投資会社がいずれも単にスタートアップに資金を投入するだけではなく、その成長を助けるための仕組み、インキュベーションプロセスを強調した点である。英国の Seraphim Capital をはじめ、TenX や SpaceTec Capital などが積極的にインキュベーションに携わっている。この動きは米国ではもう一つはっきりとは見えない動きであり、米国に比べスタートアップ

<sup>1</sup> ハイプサイクルはガートナー社が唱えた新技術の推移を示すモデルである。新技術はまず黎明期・流行期を経たのち、過度の期待に応えられず失望を生

む幻滅期を迎える。ただしその後回復期、安定期と徐々に再度期待にこたえられるようになって初めて定着した技術となるという。

の数・規模とも小さい欧州ならではの動きかもしれない。例えば SpaceBit というアクセラレータは6週間のスタートアップ向けトレーニングコースを年二回提供すると発表した。

## 主な講演

### (1) 政府の役割

### (2) ESA の通信衛星計画

### (3) 地球観測衛星の収束点

葛岡 成樹

E-mail: [shigeki-kuzuoka@sat-biznet.com](mailto:shigeki-kuzuoka@sat-biznet.com)

TEL: 080-2052-1348

**Euroconsult**

ユーロコンサル日本事務所

<http://www.euroconsult-ec.com>

葛岡 成樹

E-mail: [shigeki.kuzuoka@euroconsult-jp.com](mailto:shigeki.kuzuoka@euroconsult-jp.com)

TEL: 080-2052-1348

## ちょっと一言

今回2日と短期間の会議で、かつ会議センター隣接のホテルに泊まったため、会議とホテルの往復だけで終わってしまった。ルクセンブルクの旧市街はこじんまりとして散歩するのによい街だが、寒くて天気が悪いと夕食はすべてホテルのレストランになってしまう。

ということで、今回は会議で昼食として出されたbuffetを紹介しよう。buffetとはいえ、まずはサラダ・テリーヌなどの前菜のテーブルと、シチューやラザニアなどのメインテーブル、さらには小さなケーキが並んだテーブルとフルコース構成。テーブルにゆっくり座ってワインを飲み

ながらと言いたい

ところだが、会議のランチはビジネスの場、情報交換の場である。ちよ

っともつたいない昼食であった。



本報告書へのお問い合わせは：



株式会社 サテライト・ビジネス・ネットワーク

<http://sat-biznet.com>

